**２０２４年度　サービス評価の改善計画**

1. **変更等が出れば、些細な事でもその都度情報発信を行う（お試し期間も含）。不明な点は確認しながら**

**職員が一体となって確実に支援していく。チームとして支援できるよう職員同士の連携を強化する。**

　　　　　　　　→　あまりにも短期で変更等があり、情報共有として現在カウンターに貼っているメモ等を、個人情報の関係も有り

事務所内側の扉のボードに移動しやってみる。

1. **担当ご利用者様としっかり関わりを持ち、小さな「～したい」から実現していく。**

　　　　　 →　今回、大きな一歩を踏み出せた。小規模多機能ならではの柔軟な対応、又自分がその立場になった事を想像し、

引き続き「～したい」を実現していく。

1. **ミーティングをこまめに行い情報共有・記録に残し、チームとして支援する。**表情やしぐさから自分の思いを

**言葉にできない方の思いを知ろうと働きかけ、言語化できるよう心掛ける。**

→　　状況が目まぐるしく変わる為、状況にあった支援が出来る様に、その場にいる職員だけでもミーティングを行い、

情報共有し記録に残す。又関わりの時間を持つ事で、個々の真の思いを感じ取り、チームとして共有し支援する。

1. **情報を掴みに行く。必要に応じて社会資源・地域資源を活かし現状を検証し必要な支援する。**

→　　情報を掴みに行く。必要に応じて社会資源・地域資源を活かし現状を検証し必要な支援する。

1. **地域資源も活用し短時間でも社会と繋がる。小規模だからこそ出来る柔軟な支援をする。**

　　　　　　　　→　例えば訪問のみの方等、少しの時間でも通いに来ておしゃべりや清潔保持。レクに参加、お菓子作り、園芸等自分の

興味のある事をする事で楽しい時間を過ごして頂く。又近くのスーパー等に買い物に行き、季節感を感じたり、

ご家族や職員以外の方と接する等、社会とつながる様に支援する。

1. **散歩がてら積極的に外に出て、地域のゴミ拾いをする等の機会をもつ。引き続き地域の行事、会議に参加する**

　　→　公園は地域の方が、頻繁に掃除をして下さり常に綺麗。公園や施設の外周等には、煙草の吸殻や紙くずが落ちているので、

ご利用者様と散歩がてらゴミ拾いをし、地域清掃を行う。又、地域の行事や会議に参加させて頂き、地域の方の意見を聞き、

連携・協働出来る事を検討していく。臨機応変に個別支援をしていく。

1. **ご利用者様には居心地の良い「居場所」「サービス」の提供。職員は居心地の良い「職場」を目指す。**

　　　　　→　自分がされて嬉しい事、モチベーションが上がる事（明るく気持ちの良い挨拶や感謝の言葉を発する等）を意識する。逆に

全体のモチベーションが下がる様な否定的な事は口にせず、前向きに考えていく事を習慣つける。

1. **不安な事・困った事等、みんなで考えみんなで支援しチーム力を上げていく。**

　　　　　　→　困難事例の方の対応も増えてきている。否定的な事は言わず、何が出来るか、何が出来ないか、他に方法はないか、

どうやったら出来るか等をみんなで考え支援し、チーム力を上げていく。

1. **ご利用者様の気持ち（状況）に寄り添った言動を心掛ける。**→　対ご利用者様だけでなく、職員同士も距離感に注意していき、自分や家族が受けたいと感じられる様な言葉掛けや

行動を心掛ける。又自分では無意識な事もあるので、その都度みんなで意識してお互い伝えあっていく